

# ENVI5.6 SP3 リリースノート

## Note

---

最新の情報に関しては、下記のリンクを参照してください。

<https://www.l3harrisgeospatial.com/Software-Technology/ENVI>

---

このリリースノートは次の項目に分かれています。

## 内容

ENVI5.6 SP3 のサポートプラットフォーム .....	2
ENVI5.6 SP3 の新機能 .....	4
ENVI5.6 SP3 で修正された問題 .....	4

## ENVI5.6 SP3 のサポートプラットフォーム

ENVI5.6 SP3 のサポートプラットフォームを以下の表に示します。サポートバージョンに変更があるため、ソフトウェアをインストールするマシンが以下の条件を満たすかどうか必ずご確認ください。また、ライセンス認証にはネットワークカード（NIC もしくは Ethernet）が必要になります。

プラットフォーム	ハードウェア	オペレーティングシステム	サポートバージョン <b>b</b>
Windows	Intel / AMD 64-bit <b>a</b>	Windows	10, 11
Macintosh	Intel 64-bit	macOS	10.14, 10.15, 11, 12 <b>c</b>
	M1		11, 12 <b>d</b>
UNIX	Intel / AMD 64-bit	Linux	Kernel 4.18.0 glibc 2.28

**a:** ENVI5.3 より Windows は 64-bit OS のみのサポートとなります。32bit モードの ENVI を起動する場合は、「ENVI5.6/IDL8.8 インストールガイド」の「Windows 版 ENVI/IDL の起動方法」をご確認ください。

**b:** サポートバージョン中の記載は、ENVI / IDL の構築・テスト環境を示しています。弊社による公式のサポートは、表に記載されたインストール環境に対して適用されません。

**c:** Macintosh 版のインストールには、Apple X11 X-window マネージャが必要となります。X11 がインストールされていない場合は、XQuartz よりインストールを行ってください。XQuartz2.8.2 にて動作確認されています。

**d:** M1 チップマシンには、Rosetta2 エミュレータが必要です。

### 推奨環境：

本製品を快適に利用するために 1GB 以上のメモリを持つグラフィックボードの搭載と、バージョン 2.0 以降の OpenGL のマシン環境を推奨します。また、搭載されているグラフィックボードのドライバを最新にアップデートすることを推奨します。ヘルプシステムは HTML5 対応ブラウザを必要とします。

また、現行の ENVI の動作に要求される最小のマシンスペックを以下の表に示します。インストールを行うマシンが以下の性能を満たしているか、必ずご確認ください。

ハードウェア	最小スペック
ハードディスク容量	4GB
メモリ	8GB
CPU	最小 2Core 推奨 4Core 以上、AVX サポート

### ライセンスサーバーのサポートプラットフォーム

本製品をフローティングのライセンスのサーバー機として使用する場合には、ライセンスサーバー (Flexnet License Server) を使用します。そのライセンスサーバーのサポートプラットフォームを以下の表に示します。なお、MacOS はフローティングサーバーとしては動作いたしません。

ライセンスサーバーをインストールするマシンが以下の条件を満たすかどうか、必ずご確認ください。また、フローティングライセンスに関しても、ライセンス認証にはネットワークカード (NIC もしくは Ethernet) を介した、インターネット接続が必要となります。

プラットフォーム	CPU アーキテクチャ	サポートバージョン
Windows 64bit	x86-64	Windows Server 2012, 2012 R2, 2016, 2019 Windows 8.1, 10
Linux	x86-64	Cent OS 7.x Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 7.x Ubuntu 16, 18

また、現行の Flexnet License Server 2020.07 の動作に要求される最小のマシンスペックを以下の表に示します。インストールを行うマシンが以下の性能を満たしているか、必ずご確認ください。

ハードウェア	最小スペック
ハードディスク容量	500MB
メモリ	4 GB
CPU	2GHz – 2 Cores

#### その他：

搭載されているグラフィックボードのドライバを最新にアップデートすることを推奨します。各製品の Help は HTML5 対応ブラウザを必要とします。

## ENVI5.6 SP3 の新機能

ENVI5.6 SP3 の新機能詳細は以下のページを参照ください。

[https://www.harrisgeospatial.com/docs/using\\_envi\\_WhatsNew.html](https://www.harrisgeospatial.com/docs/using_envi_WhatsNew.html)

## ENVI5.6 SP3 で修正された問題

ID	解 説
ENVI-72526	漢字を含む TIFF を開くことができませんでした。
ENVI-72576	ENVI の CEM アルゴリズムで不一致が見つかりました。
ENVI-72615	Sentinel 2 データを使用してタイムシリーズを生成した際にエラーが発生しました。
ENVI-72628	JP2 画像のロードに時間がかかることがありました。
ENVI-72683	一部の MIE4NITF ファイルを OpenRaster で開くと、NITF Browser で表示できないことがありました。
ENVI-72726	特定の大きな J2K 圧縮 NITF をローミング/ズームすると、ENVI がクラッシュしました。

ID	解 説
ENVI-72735	NUM_IMAGE プロパティが 1 より大きい TIFF イメージは、クラッシュしました。
ENVI-72738	環境設定ファイルでマルチバイト文字が正しく表示されませんでした。

## お問い合わせ

ご質問は、以下テクニカルサポート宛てにお問い合わせください。

Harris Geospatial 株式会社

製品技術サポート担当

Email : support\_jp@L3harris.com